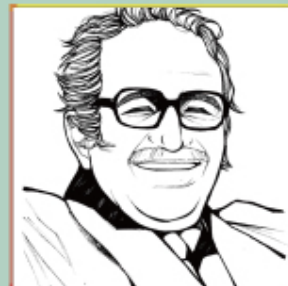


## 第1回

# スペイン語文学読者の秘かな愉しみ

対談 野谷文昭さん × 豊崎由美さん



2018年9月2日(日)

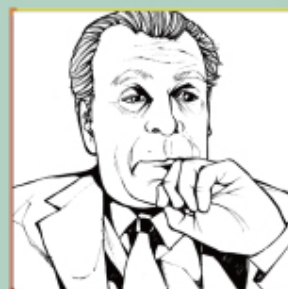
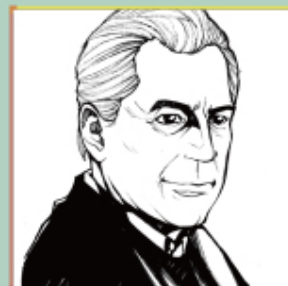
14時～16時 (13時半開場)

## 東京堂ホール

東京都千代田区神田神保町 1-17 東京堂書店 6階  
東京メトロ・都営地下鉄「神保町駅」A7出口 徒歩3分  
JR「御茶ノ水駅」御茶ノ水橋口 徒歩8分

申込方法 Peatix で事前にお申込みください。  
<http://ptix.at/q8MTuF>

参加費 2000円  
定員 60名(先着順)



illustration©Kenshi Uno

セルバンテスの『ドン・キホーテ』から、ガルシア＝マルケス、ホラーニョまで、注目の作品を数多く生み出してきたスペイン語文学。その研究・翻訳の第一人者で、近く訳書『二十世紀ラテンアメリカ短篇選』(岩波書店)が刊行になる野谷文昭さんと、鋭い書評でガイフン応援団として知られる豊崎由美さんが、ラテンアメリカ文学のおもしろさ、今とこれからをとことん語ります。

### 野谷文昭

名古屋外国語大学教授。東京大学名誉教授。専門はスペイン語圏の文学・文化。訳書にガルシア＝マルケス『予告された殺人の記録』、ボルヘス『七つの夜』、ブイグ『蜘蛛女のキス』、コルタサル『愛しのグレンダ』、ボラーニョ『2666』『チリ夜想曲』『アメリカ大陸のナチ文学』、セルバンテス『ポケットマスターピース 13 セルバンテス』等。著書に『マジカル・ラテン・ミステリー・ツアー』『ラテンにキスせよ』『越境するラテンアメリカ』等がある。ブニュエル作品など映画の字幕を数多く手掛ける。

### 豊崎由美

ライター、書評家。「TV Bros.」「共同通信」「週刊新潮」などで書評を多数掲載。「新文化」で「トヨタ社長の書評家的日常」を連載中。主な著書に『勝てる読書』(河出書房新社)、『ニッポンの書評』(光文社新書)、『文学賞メッタ斬り!』シリーズ&『村上春樹「騎士団長殺し」メッタ斬り!』(大森望氏との共著)、『まるでダメ男じゃん!「トホホ男子」で読む、百年ちよっとの名作23選』(筑摩書房)などがある。Twitterアカウントは @toyozakishatyou

主催: NPO法人イスパニカ文化経済交流協会  
(イスパjp)

<http://hispa.jp>

港区赤坂2-2-19 アドレスビル地下1階

お問い合わせ: [trad@hispa.jp](mailto:trad@hispa.jp)

後援: インститウト・セルバンテス東京



NPO 法人イスパニカ文化経済交流協会(イスパjp)は、日本とスペイン語圏諸国との文化理解を促進し、学術や文化芸術、ビジネスにおける交流の推進に寄与することをめざして2014年に設立されました。出版界では近年、海外文学を後押しする動きがむくむくと起こっていますが、残念ながらまだまだマイノリティであるスペイン語文学の出版をイスパJPは応援していきます。会員になって一緒に活動をささえてくださる方も募集中です。詳しくはHPをご覧ください。